

アイオー信用金庫第十回新現役マッチング交流会

2022年9月20日、アイオー信用金庫第十回新現役マッチング交流会が、伊勢崎市プラザエリアで開催されました。

アイオー信用金庫(本店:群馬県伊勢崎市)は「共存同栄」を企業理念に掲げ、「地域社会繋栄への奉仕」「中小企業の健全な発展」「豊かな国民生活の実現」を目指しています。



まず挨拶に立たれたアイオー信用金庫 長谷川淳一理事長は「新現役交流会を『企業支援の柱』として取り組んできました。特に今回は記念すべき10周年にあたり、全支店から20社の参加を得られたもので、大きな成果に繋がるものと期待しています。」と述べられました。

またこれまでの実績についても触れられ、参加された企業経営者も熱心に耳を傾けられていました。

続いて来賓紹介の後、一般社団法人新現役交流会サポート 保田邦雄代表理事が専任アドバイザーとして新現役交流会の意義、面談の留意点などの説明を行いました。

約50名の新現役が参加されましたが、その多くの方は東京近郊から片道2時間前後の移動時間がかかるにも拘わらず、大きな熱意をもって来場されたものです。

面談時間が限られているため、「席に着かれたら挨拶抜きで、直ちに面談に入ってください」との案内で、すぐに各ブースで熱のこもったやり取りが始まりました。

長谷川理事長も自らブースに足を運び、企業経営者と新現役のやり取りを熱心に聞き入っていらした姿が印象的でした。

また、金融総合専門紙のニッキン(株式会社日本金融通信社)が取材に訪れ、精力的に参加者にインタビューされていました。





コロナ禍で「三密対策」のためにオンライン開催も増えていますが、臨場感の違いから「リアル面談」の要望も根強く、アイオー信用金庫では今回も「リアル面談」で開催されました。

会場のプラザエリアは結婚式場としても地元で有名な建物で、広い会場／十分なソーシャルディスタンスが確保されました。面談の合間には信用金庫職員がテーブルなどを丁寧に消毒し、感染防止に万全の対策が取られました。職員のご苦労、気遣いは大変だったと思います。

文＝保田